

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／その他資産（バンクローン）	
信託期間	約5年間（2014年7月31日～2019年7月19日）	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。	
主要投資 対象	当ファンド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「JPモルガン トラスト2－シニア・セキュアード・ローン・ファンド JPYクラス」の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの 運用方法	①主として、JPモルガン トラスト2－シニア・セキュアード・ローン・ファンド JPYクラスの受益証券への投資を通じて、米ドル建ての担保付バンクローン（貸付債権）等に投資することにより、安定的なインカム収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。 ②当ファンドは、JPモルガン トラスト2－シニア・セキュアード・ローン・ファンド JPYクラスとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、JPモルガン トラスト2－シニア・セキュアード・ローン・ファンド JPYクラスへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③JPモルガン トラスト2－シニア・セキュアード・ローン・ファンド JPYクラスでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。	
マザーファンド の運用方法	円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

ダイワ米国バンクローン・ファンド
（為替ヘッジあり）2014－07

運用報告書（全体版）
第1期

（決算日 2015年1月19日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014－07」は、このたび、第1期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

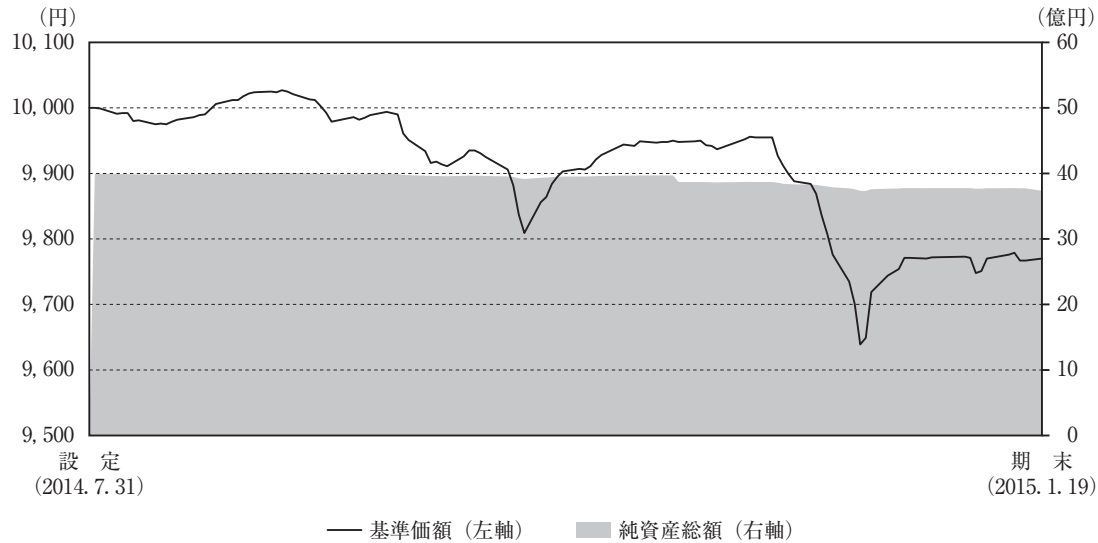
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■設定以来の運用実績

決 算 期	(分配落)	基 準 価 額			受益者 利回り	公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	元 本 残存率
		税込み 分配金	期 中 騰落額	期 中 騰落率				
設 定 (2014年 7 月31日)	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	% —	% 100.0
1 期末 (2015年 1 月19日)	9,670	100	△ 230	△ 2.3	△ 4.9	0.0	98.8	96.7

(注 1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■当期中の基準価額の推移



(注) 期末の基準価額は、分配金込みです。

年 月 日	基 準	価 額	公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率		
	円	%	%	%
(設定)2014年 7 月31日	10,000	—	—	—
7 月末	10,000	0.0	0.0	—
8 月末	10,024	0.2	0.0	99.2
9 月末	9,916	△ 0.8	0.0	99.4
10月末	9,928	△ 0.7	0.0	99.5
11月末	9,955	△ 0.5	0.0	99.7
12月末	9,772	△ 2.3	0.0	100.0
(期末)2015年 1 月19日	9,770	△ 2.3	0.0	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 期末：9,670円（分配金100円） 騰落率：△2.3%（分配金込み）

【基準価額の主な変動要因】

米国担保付貸付債権（バンクロン）市場およびハイ・イールド債券市場は原油価格の下落など商品市況の低迷を受けて、金属やエネルギー関連セクターが主導して軟調な展開となり、基準価額は値下がりました。

◆投資環境について

○米国債券市況

米国債券利回りは、金利低下しました。2014年9月前半に、米国の金融緩和姿勢の後退観測から金利は上昇しましたが、その後は原油価格の下落が物価指標に低下圧力を及ぼしたほか、世界景気見通しの鈍化、10月末の日銀の追加金融緩和、ECB（欧州中央銀行）の国債購入策への期待の高まりを背景に低下傾向が続きました。

当ファンドの投資対象である米国担保付貸付債権（バンクロン）やハイ・イールド債券市場は、原油価格の急速な下落など商品市況の低迷を受けてリスク回避的な展開が続き、エネルギー関連や金属／鉱物セクターが主導する形で軟調な展開となりました。

○短期金利市況

日銀は、2014年10月末の金融政策決定会合において追加金融緩和を決定するなど、大規模な量的・質的金融緩和など主要政策を継続しており、日本の短期金利は低位で推移しました。

一方、米国では2014年10月にFRB（米国連邦準備制度理事会）が量的金融緩和の終了を決定しましたが、政策金利の誘導目標レンジは0～0.25%で据え置かれました。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、J Pモルガン トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド J P Yクラスとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通じてJ Pモルガン トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド J P Yクラスへの投資割合を高位に維持し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

○J Pモルガン トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド J P Yクラス

米ドル建ての担保付貸付債権（バンクローン）等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行ないました。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

◆収益分配金

収益分配金につきましては、経費等を勘案して1万口当たり100円の収益分配を行ないました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

《今後の運用方針》

○当ファンド

当ファンドは、J Pモルガン トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド J P Yクラスの受益証券への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての担保付貸付債権（バンクローン）等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○J Pモルガン トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド J P Yクラス

米国バンクローンおよびハイ・イールド債の中でも格上げを見込めるファンダメンタルズの改善基調にある銘柄やリスク対比で魅力的な銘柄の選定を行なってまいります。また、クレジットの劣化に迅速に対応することでパフォーマンスの向上に努める方針です。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2014. 7. 31～2015. 1. 19)		
	金 額	比 率	
信託報酬	55円	0. 550%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は9, 911円です。
（投信会社）	(18)	(0. 179)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(36)	(0. 358)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 （監査費用）	0 (0)	0. 004 (0. 004)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	55	0. 554	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2014年 7 月31日から2015年 1 月19日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外 国 (邦貨建)	41, 159. 762	4, 128, 602	2, 109. 877	201, 966

(注 1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注 2) 金額は受渡し代金。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2014年 7 月31日から2015年 1 月19日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー ス ト ッ ク ・ マザーファンド	9	10	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2014年 7 月31日から2015年 1 月19日まで)

当 期				期 付			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
JPMORGAN TRUST2 SENIOR SECURED LOAN FUND CLASS B JPY CLASS（ケイマン諸島）	39, 425. 759	3, 960, 000	100	JPMORGAN TRUST2 SENIOR SECURED LOAN FUND CLASS B JPY CLASS（ケイマン諸島）	2, 109. 877	201, 966	95

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2014年7月31日から2015年1月19日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利 害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利 害 関係人との 取引状況 D	D/C
区 分						
公 社 債	百万円 3,489	百万円 429	% 12.3	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	43,792	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) JPMORGAN TRUST2 SENIOR SECURED LOAN FUND CLASS B JPY CLASS	千口 39,049,885	千円 3,689,901	% 98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 9	千円 10

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年1月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 3,689,901	% 97.2
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	104,980	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	3,794,891	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年1月19日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	3,881,165,895円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	18,706,156
投 資 信 託 受 益 証 券 (評価額)	3,689,901,738
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	10,001
未 収 入 金	172,548,000
(B)負 債	146,110,983
未 払 金	86,274,000
未 払 収 益 分 配 金	38,624,032
未 払 信 託 報 酬	21,063,749
そ の 他 未 払 費 用	149,202
(C)純 資 産 総 額 (A－B)	3,735,054,912
元 本	3,862,403,298
次 期 繰 越 損 益 金	△ 127,348,386
(D)受 益 権 総 口 数	3,862,403,298口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C／D)	9,670円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,670円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は127,348,386円です。

■損益の状況

当期 自2014年7月31日 至2015年1月19日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	168,646,171円
受 取 配 当 金	168,602,155
受 取 利 息	44,016
(B)有価証券売買損益	△ 9,717,718
売 買 益	6
売 買 損	△ 9,717,724
(C)有価証券評価差損益	△ 227,016,698
(D)信 託 報 酬 等	△ 21,673,711
(E)当 期 損 益 金 (A＋B＋C＋D)	△ 89,761,956
(F)解約差損益金	1,037,602
(G)合 計 (E＋F)	△ 88,724,354
(H)収 益 分 配 金	△ 38,624,032
次期繰越損益金 (G＋H)	△ 127,348,386

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程

・ 計算期間末における経費控除後の配当等収益が143,578,104円であり、純資産額の元本超過額がないため、経費控除後の配当等収益143,578,104円（1万口当り371.73円）を分配対象額として、うち38,624,032円（1万口当り100円）を分配金額としております。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税込み)	100円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

《お知らせ》

- 運用報告書（全体版）の電子交付について
2014年12月1日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の2種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に定めました。
- 書面決議手続きの改正について
重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。
 - ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
 - ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
 - ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。

【本資料は、受益者のみなさまにファンドの運用状況をお知らせするためのものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。】

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014-07）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2014年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2015年1月19日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を8ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2014年7月31日から2015年1月19日まで)

買		付	売		付
銘 柄		金 額	銘 柄		金 額
		千円			千円
496 国庫短期証券	2015/3/9	1,099,998			
438 国庫短期証券	2015/3/20	999,998			
502 国庫短期証券	2015/3/30	199,999			
464 国庫短期証券	2015/1/14	149,999			
497 国庫短期証券	2015/3/16	149,998			
419 国庫短期証券	2014/12/22	99,999			
478 国庫短期証券	2015/3/10	99,999			
477 国庫短期証券	2014/12/8	99,996			
475 国庫短期証券	2014/11/25	99,992			
493 国庫短期証券	2015/2/23	89,998			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2015年1月19日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（3,765,637千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

		2015年1月19日現在					
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちB B 以下組 入 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国 債 証 券	千円 2,710,000	千円 2,709,993	% 71.7	% —	% —	% —	% 71.7

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2015年 1 月19日現在						
区 分		銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券		490 国庫短期証券	—	千円 70,000	千円 69,999	2015/02/09
		493 国庫短期証券	—	90,000	89,999	2015/02/23
		496 国庫短期証券	—	1,100,000	1,099,999	2015/03/09
		478 国庫短期証券	—	100,000	99,999	2015/03/10
		497 国庫短期証券	—	150,000	149,998	2015/03/16
		438 国庫短期証券	—	1,000,000	999,998	2015/03/20
		502 国庫短期証券	—	200,000	199,999	2015/03/30
	合 計	銘 柄 数	7銘柄			
金 額				2,710,000	2,709,993	

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第5期 (決算日 2014年12月9日)

(計算期間 2013年12月10日～2014年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第5期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

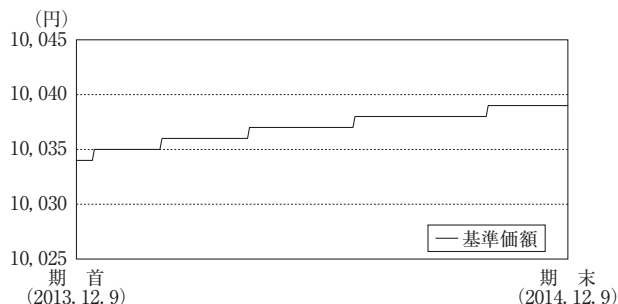
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率
	騰 落 率	組入比率	
(期首)2013年12月 9 日	円 10,034	% —	% 69.6
12月末	10,035	0.0	63.0
2014年 1 月末	10,035	0.0	70.9
2 月末	10,036	0.0	65.8
3 月末	10,036	0.0	67.1
4 月末	10,037	0.0	69.1
5 月末	10,037	0.0	69.1
6 月末	10,037	0.0	67.6
7 月末	10,038	0.0	72.5
8 月末	10,038	0.0	73.1
9 月末	10,038	0.0	68.8
10月末	10,039	0.0	64.6
11月末	10,039	0.0	64.6
(期末)2014年12月 9 日	10,039	0.0	58.5

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,034円 期末：10,039円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は値上がりしました。

◆投資環境について

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。また、2014年10月末には追加金融緩和を実施し、長期国債を中心とする資産買い入れを一層拡大しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場ではおおむね低位での金利水準が続き、無担保コール翌日物金利は0.06%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは0.06%程度で始まりましたが、日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.01%程度まで低下して期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引続き、資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

	買 付 額	売 付 額
国 債 証 券	千円 2,599,774	千円 —
	(	2,690,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

当 期			期 末		
買 付		金 額	売 付		金 額
銘 柄			銘 柄		
		千円			千円
464 国庫短期証券	2015/1/14	149,999			
419 国庫短期証券	2014/12/22	99,999			
477 国庫短期証券	2014/12/8	99,996			
475 国庫短期証券	2014/11/25	99,992			
454 国庫短期証券	2014/8/25	99,990			
433 国庫短期証券	2014/5/26	99,988			
493 国庫短期証券	2015/2/23	89,998			
473 国庫短期証券	2014/11/17	79,995			
452 国庫短期証券	2014/8/18	79,991			
431 国庫短期証券	2014/5/19	79,991			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建) 公社債(種類別)

作成期	当 期			期 末		
区 分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率	
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上
国債証券	480,000	479,995	58.5	—	—	2年未満
					%	%
					—	58.5

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内(邦貨建) 公社債(銘柄別)

当 期			期 末		
区 分	銘 柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	479 国庫短期証券	—	千円 70,000	千円 69,999	2014/12/15
	419 国庫短期証券	—	100,000	99,999	2014/12/22
	464 国庫短期証券	—	150,000	149,999	2015/01/14
	490 国庫短期証券	—	70,000	69,997	2015/02/09
	493 国庫短期証券	—	90,000	89,998	2015/02/23
合計	銘柄数	5銘柄			
	金 額		480,000	479,995	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2014年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 479,995	% 58.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等、その他	340,319	41.5
投 資 信 託 財 産 総 額	820,315	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	820,315,287円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	340,319,449
公 社 債(評価額)	479,995,838
(B) 負 債	—
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	820,315,287
元 本	817,136,908
次 期 繰 越 損 益 金	3,178,379
(D) 受益権総口数	817,136,908口
1万口当り基準価額(C/D)	10,039円

* 期首における元本額は815,881,793円、当期中における追加設定元本額は358,153,378円、同解約元本額は356,898,263円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)998円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジあり)112,594,660円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジなし)73,734,556円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり)2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり)2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり)2014-11 9,962円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型)999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド(毎月決算型)999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型)999円、アジア高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型)999円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Aコース4,988,527円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Bコース2,494,264円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Cコース999,197円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド 2 Aコース698,255円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド 2 Bコース458,853円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド 3 Aコース1,994,416円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド 3 Bコース648,186円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド 3 Cコース179,498円、世界優先証券ファンド(為替ヘッジあり/限定追加型)998円、U.S.短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型)3,988,832円、U.S.短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)4,984円、ダイワ/シュローダー・グローバル高利回りC.B.ファンド(限定追加型)為替ヘッジあり7,009,001円、ダイワ/シュローダー・グローバル高利回りC.B.ファンド(限定追加型)為替ヘッジなし904,221円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド - 成長の雄雷(つちおと) - 11,000,000円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ277,939,483円、ダイワ・アセアン需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ155,681,197円、ダイワ米国高利回り不動産証券ファンド19,942,168円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドⅡ 豪ドル・コース(毎月分配型)4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドⅡ ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドⅡ 通貨セレクト・コース(毎月分配型)4,981,569円、ダイワU.S.短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)199,295円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型)399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型)99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型)399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型)99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンド(為替ヘッジあり)20,016,725円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンド(為替ヘッジなし)4,000,959円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド49,850,449円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 日本円・コース(毎月分配型)398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 豪ドル・コース(毎月分配型)99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 米ドル・コース(毎月分配型)398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース(毎月分配型)1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 日本円・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 豪ドル・コース2,492,026円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 米ドル・コース19,936,205円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース11,961,723円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,039円です。

■損益の状況

当期 自2013年12月10日 至2014年12月9日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	423,234円
受 取 利 息	423,234
(B)有価証券売買損益	2,048
売 買 益	2,048
(C)当 期 損 益 金 (A + B)	425,282
(D)前期繰越損益金	2,803,343
(E)解約差損益金	△ 1,321,868
(F)追加信託差損益金	1,271,622
(G)合 計 (C + D + E + F)	3,178,379
次期繰越損益金 (G)	3,178,379

- (注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

- 重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。
- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
 - ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
 - ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。